



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 コニシ株式会社

コード番号 4956

URL <http://www.bond.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 大山 啓一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員

(氏名) 有澤 彰三 (TEL) 06-6228-2877

四半期報告書提出予定日 2023年2月8日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	91,220	8.9	5,178	△5.7	5,602	△4.6	8,489	121.2
2022年3月期第3四半期	83,765	6.0	5,493	10.8	5,875	12.4	3,838	6.6

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 9,038百万円 (111.5%) 2022年3月期第3四半期 4,273百万円 (△14.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	238.23	—
2022年3月期第3四半期	107.73	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	133,700	79,729	56.3
2022年3月期	119,148	72,897	57.6

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 75,305百万円 2022年3月期 68,664百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	22.00	—	22.00	44.00
2023年3月期	—	27.00	—		
2023年3月期(予想)				22.00	49.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2023年3月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当 22円00銭 ボンド発売70周年記念配当 5円00銭

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	122,000	7.3	6,950	△4.8	7,250	△7.3	9,600	86.9	269.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

親会社株主に帰属する当期純利益が大きく変動している要因は、固定資産の譲渡による固定資産売却益として、第2四半期決算に71億84百万円の特別利益が発生したためです。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名）ー 、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	40,707,440株	2022年3月期	40,707,440株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	5,298,753株	2022年3月期	5,067,401株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	35,636,249株	2022年3月期3Q	35,626,182株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(セグメント情報)	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当該四半期期間の日本経済は、新型コロナウイルス感染症対策と社会経済活動の両立に向けて、生活の正常化が進む中、景気は緩やかに持ち直しの動きが見られたものの、世界的な原材料・エネルギー価格の高騰や円安等の為替動向の懸念、物価上昇等、未だ先行き不透明な状況で推移しました。

このような事業環境の中、当社グループにおきましては、建築・土木分野の需要が復調し、補修・改修・補強向け売上高が、ボンド・工事、両セグメントともに好調に推移しました。また化成品セグメントは、自動車向けの商材が引き続き好調に推移しました。一方で、為替動向および、ウクライナ情勢の影響により、原材料コストが引き続き上昇傾向となり、全体の収益を圧迫しました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は、売上高912億20百万円(前年同四半期比8.9%増)、営業利益51億78百万円(前年同四半期比5.7%減)、経常利益56億2百万円(前年同四半期比4.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、2021年8月24日公表の「固定資産の譲渡および特別利益の計上に関するお知らせ」のとおり固定資産売却益を計上したことから、84億89百万円(前年同四半期比121.2%増)となりました。

セグメントの概況は次のとおりであります。

① ボンド

一般家庭用分野においては、ホームセンター向けやコンビニエンスストア向けは堅調で、前年同四半期並みとなりました。住関連分野においては、建築コストが上昇傾向となり新設住宅着工戸数の持ち直しの動きは鈍く、内装工事用の販売数量は減少しました。産業資材分野においては、紙関連用途の水溶性接着剤や自動車・電子部品等に使用される弾性接着剤の販売数量は増加しました。建築分野においては、建築補修用や建築用シーリング材の販売数量は増加し、土木分野においても、表面保護・はく落防止工法が好調に推移しました。

売上高は、製品販売価格の是正による効果もあり伸長しましたが、接着剤やシーリング材に使用される原材料価格は依然として過去にない水準で高騰しており、経費削減や原価改善の取り組み、売価への反映が進捗したものの営業利益は減少となりました。

以上の結果、売上高は519億42百万円(前年同四半期比8.3%増)、営業利益は32億78百万円(前年同四半期比12.1%減)となりました。

② 化成品

売上高、利益ともに、仕入商材の価格改定による影響もあり、全体的に好調に推移しました。化学工業分野においては、樹脂原料や放熱材料の販売が堅調に推移しました。自動車向けの商材は、半導体不足等で需要影響があったものの、供給制約の緩和や新規採用により好調に推移しました。また、電気機械向けの商材は、供給先の生産調整もあり低調に推移しました。丸安産業(株)は、半導体製造に使用される商材およびコンデンサ用商材が引き続き好調に推移しました。

以上の結果、売上高は261億26百万円(前年同四半期比10.7%増)、営業利益は10億1百万円(前年同四半期比36.6%増)となりました。

③ 工事業

工事業においては、公共事業を中心としたインフラおよびストック市場の補修・改修・補強工事が引き続き好調に推移し、ボンドエンジニアリング(株)は売上・利益ともに増加しました。その他の関係工事会社は、工事の受注状況は堅調であるものの、資材価格の高騰や大型工事案件を得られなかったこと等により低調に推移しました。

以上の結果、売上高は130億14百万円(前年同四半期比8.2%増)、営業利益は9億28百万円(前年同四半期比6.1%減)となりました。

④ その他

その他は不動産賃貸業等となります。売上高は1億37百万円(前年同四半期比7.4%減)、営業損失は37百万円(前年同四半期は32百万円の営業利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ145億51百万円増加し、1,337億円となりました。

① 資産

流動資産は、現金及び預金が92億51百万円、電子記録債権が47億90百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ152億23百万円増の974億89百万円となりました。固定資産は、有形固定資産が3億20百万円、投資有価証券が1億60百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ6億71百万円減の362億10百万円となりました。

② 負債

流動負債は、支払手形及び買掛金が64億9百万円、未払法人税等が12億35百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ75億20百万円増の487億15百万円となりました。固定負債は、前連結会計年度末に比べ2億円増の52億55百万円となりました。

③ 純資産

純資産は、利益剰余金が67億42百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ68億31百万円増の797億29百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点において、2022年4月28日発表時の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,169	35,421
受取手形、売掛金及び契約資産	35,087	34,649
電子記録債権	10,637	15,427
商品及び製品	7,280	8,509
仕掛品	253	307
原材料及び貯蔵品	1,305	1,836
その他	1,579	1,395
貸倒引当金	△47	△57
流動資産合計	82,266	97,489
固定資産		
有形固定資産	25,618	25,297
無形固定資産	811	734
投資その他の資産		
投資有価証券	7,628	7,468
その他	2,842	2,728
貸倒引当金	△17	△18
投資その他の資産合計	10,453	10,178
固定資産合計	36,882	36,210
資産合計	119,148	133,700

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	31,737	38,146
電子記録債務	3,413	4,046
短期借入金	46	62
1年内返済予定の長期借入金	104	71
未払法人税等	1,238	2,473
賞与引当金	1,125	615
役員賞与引当金	116	79
その他	3,413	3,220
流動負債合計	41,195	48,715
固定負債		
長期借入金	256	128
退職給付に係る負債	612	691
その他	4,186	4,436
固定負債合計	5,055	5,255
負債合計	46,251	53,971
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,603	4,603
資本剰余金	4,544	4,557
利益剰余金	61,164	67,907
自己株式	△5,504	△5,904
株主資本合計	64,808	71,164
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,383	2,269
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	270	726
退職給付に係る調整累計額	1,201	1,145
その他の包括利益累計額合計	3,856	4,141
非支配株主持分	4,232	4,423
純資産合計	72,897	79,729
負債純資産合計	119,148	133,700

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	83,765	91,220
売上原価	66,528	73,809
売上総利益	17,236	17,411
販売費及び一般管理費	11,743	12,232
営業利益	5,493	5,178
営業外収益		
受取利息	5	11
受取配当金	203	240
持分法による投資利益	12	19
その他	200	208
営業外収益合計	421	479
営業外費用		
支払利息	8	7
減価償却費	18	23
支払補償費	3	10
その他	9	14
営業外費用合計	40	55
経常利益	5,875	5,602
特別利益		
固定資産売却益	42	7,185
その他	17	0
特別利益合計	60	7,185
特別損失		
固定資産処分損	10	40
その他	0	0
特別損失合計	11	40
税金等調整前四半期純利益	5,924	12,747
法人税、住民税及び事業税	1,619	3,634
法人税等調整額	251	376
法人税等合計	1,871	4,010
四半期純利益	4,053	8,736
非支配株主に帰属する四半期純利益	214	246
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,838	8,489

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	4,053	8,736
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△25	△168
繰延ヘッジ損益	0	△0
為替換算調整勘定	253	531
退職給付に係る調整額	△13	△56
持分法適用会社に対する持分相当額	5	△5
その他の包括利益合計	220	301
四半期包括利益	4,273	9,038
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,022	8,774
非支配株主に係る四半期包括利益	250	263

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ボンド	化成品	工事業	計				
売上高								
(1)外部顧客への売上高	47,982	23,607	12,027	83,617	148	83,765	—	83,765
(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	219	123	5	348	62	411	△411	—
計	48,201	23,731	12,032	83,965	211	84,176	△411	83,765
セグメント利益	3,731	733	988	5,453	32	5,486	7	5,493

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ボンド	化成品	工事業	計				
売上高								
(1)外部顧客への売上高	51,942	26,126	13,014	91,083	137	91,220	—	91,220
(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	251	289	14	555	58	613	△613	—
計	52,194	26,415	13,028	91,638	195	91,834	△613	91,220
セグメント利益又は損失(△)	3,278	1,001	928	5,207	△37	5,170	8	5,178

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸の事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。